

新型コロナウイルスの感染が収束していない中での大会運営ガイドライン

九州大学サッカー連盟

九州大学サッカー連盟(以下、「学連」という)が主催する試合は、以下の規定を順守して実施する。

1. 試合に関わる選手・スタッフ・関係者の体調の管理

各チームの監督を「感染対策責任者」とし、チームの感染対策に万全を期す。感染対策責任者は、以下に記載する項目につき、試合に関わる選手・スタッフ・関係者(上限28名)の体調等を責任持って管理する。

(1) 以下の事項に該当する場合は自主的に試合への参加を見合わせる。

- 1) 2週間以内に新型コロナウイルスへの感染が疑われる症状(発熱、咳、だるさ、味や匂いを感じない等)が発症した場合
- 2) 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
- 3) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(2) (1)の1)に該当する学生を試合にエントリーさせていないことの証明として、試合前に監督が書面に証明のサインを行った上で、後日、エントリーメンバーの健康情報(原則、One Tap Sportsへの登録データ)を提出する。

(3) 当日参加する選手・スタッフ全員がマスクを着用する。

(4) 当日参加する全員の健康チェックを行う。

(5) 感染者が試合に復帰するためには、以下の要件を満たすことを条件とする。

- 1) 発症後2週間を経過していること
- 2) 寛解していること(無症状の学生は除く)
- 3) 大学からの活動許可が下りていること

1)から3)の条件を満たした場合は、所定の書式にて学連に報告すること。

(6) 濃厚接触者の試合に出場するためには、以下の要件を満たすことを条件とする。

- 1) 濃厚接触者として認定された起算日から2週間が経過していること
- 2) 感染を疑われる症状を発症していないこと
- 3) 大学からの活動許可が下りていること

1)から3)の条件を満たした場合は、所定の書式にて学連に報告すること。

2. 試合に関わる選手・スタッフ・関係者のセルフケアおよびマナー

試合に関わる選手・スタッフ・関係者は、以下に記載する項目を必ず遵守する。

(1) 選手は、競技に関わる時間(試合中、ウォーミングアップ)以外は、必ずマスクを着用する。スタッフ・関係者は、原則、常時マスクを着用する。

- (2) 飲料用ボトルの飲みまわしはしない。
- (3) 着衣、タオル等の共用は禁止する。
- (4) チームの備品を共有する場合は、使用前に消毒用アルコール等を用いて環境消毒を行う。
- (5) 咳エチケットを守り、つばを吐いたり、手鼻をかまない。
- (6) 得点時にハイタッチ、抱擁を仕向けない。
- (7) 選手間および審判との握手は行わない。
- (8) 試合前のチーム集合写真撮影および円陣は、選手間の距離を前後左右1.5m以上確保することを条件とする。
- (9) スタッフがテクニカルエリアで指示を行う場合は、必ずマスク着用の上、選手との距離を1.5m以上確保して指示を行う。
- (10) 消毒用アルコール等の感染予防用品は、各チームが責任を持って準備を行う。

### 3. 試合運営の注意事項

- (1) 本部のテントおよび両チームのベンチは、椅子と椅子との間を1.5m～2m開けて着席できるように配置する。
- (2) 各試合会場において観戦者用のゾーンを設けるか否かは、各会場の状況に応じて定めるが、いずれにしても観客に対して、マスクの着用の義務化とソーシャルディスタンス(2m以上)を確保した上で観戦してもらうよう、掲示やアナウンスを行う。
- (3) 試合に関わる選手、スタッフ、関係者以外のグラウンドへの入場、応援は禁止する。
- (4) 試合運営に使用する文房具類の使い回しは行わないことを前提に事前の準備を行う。使い回しをする場合は、必ず消毒用アルコール等を利用して環境消毒を行う。
- (5) マネージャーズミーティングは、参加者間の距離を前後左右2m以上確保した状態でマスクを着用し実施する。また、握手は行わない。
- (6) 試合開始前に両チームと審判団がピッチ中央に集まらない。また、試合終了後の両チームへの挨拶も行わない。
- (7) 更衣室は、基本的に使用しない。使用する場合は、更衣室内でも社会的距離(2m、最低1m)を確保し、滞在時間をできるだけ減らし、必ずマスクを着用する。
- (8) シャワーが設置されている施設においても、原則、使用しない。

### 4. 試合会場への移動

- (1) 公共交通機関の利用時にはラッシュを避け、マスクを着用し、感染防止マナーを守る。
- (2) 窓を開ける等、換気がよくなる工夫をする。
- (3) 電車・バス等を利用中か否かにかかわらず、移動時は常に他社と距離をとり、会話も控える。
- (4) 専用バス利用に際して、以下の点に留意する。
  - ・大型バスの利用が望ましい。マイクロバスを利用する場合は、複数台に分乗して選

手間の距離 1.5mから2m開けるよう工夫する。

- ・乗車前に必ず全員の体温測定を行う
- ・マスクを着用する。
- ・席の間隔をあけて座ること
- ・車内の換気に留意する。1時間に3回の換気が推奨される。
- ・有事の際に判断ができる社会人スタッフが同乗することを原則とする。

## 5. 宿泊の際の留意点

### 1) 宿舎

シングルでの部屋の確保が望ましい。なお、複数人の同一部屋への宿泊については、就寝時以外は部屋内でのマスク着用を原則とすること。

### 2) 食事

定食形式での食事が望ましい。ビュッフェ形式で食事を採用する場合は、宿泊先と協議の上感染防止対策を十分施すことを条件とする。ただし、宿泊先の人員の都合により対応できないケースもありうるので、予約の段階で必ず確認すること。また、これらの対応については、費用の追加負担が生じる可能性があることも考慮すること。

### 3) その他

宿舎におけるミーティング、共同浴場の利用に際しては、人との距離を確保できる部屋の確保や密集を避けた利用が可能となるルールを定める等、感染拡大防止対策を意識した十分な対応を施すこと。

## 6. メディア・スカウティングについて

メディアの取材やスカウティングによる会場への入場は、取材やスカウティングの対象となるチームに対して、事前に以下の事項を連絡し、許可を得た上で行う。

- ① 氏名 ② 所属 ③ 人数

なお、当日は、所定の健康チェックシートに健康状況を記載の上、スカウティングを行うチームに提出し、観戦は決められた場所でマスク着用の上、行うこととする。

## 7. 試合の観戦について

原則、無観客試合とする。ただし、観客が来た場合は、会場責任校が、マスクの着用、密接、密集の回避などの感染拡大防止策を周知する責任を負う。

上記の規定に違反した場合は、各大会の規律・フェアプレー委員会および九州サッカー協会により、懲罰の裁定が下される場合がある。

以上